

R6 学校教育自己診断・教職員用アンケート『こんな堺支援がいいな』 集計結果
提出率：100.0 % (155/155)

		A+B	C+D
1	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	87%	13%
2	自立活動の指導に当たっては、幼児・児童・生徒が興味をもって主体的に取り組めるよう工夫している。	91%	9%
3	学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている。	84%	16%
4	教育相談体制が整備されており、児童・生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	84%	16%
5	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	87%	13%
6	児童・生徒が将来の進路や生き方について、考える機会を多く設けている。	86%	14%
7	児童・生徒一人ひとりが、興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	90%	10%
8	道徳教育は、年間指導計画に基づき、継続して行っている。	82%	18%
9	学校行事が、幼児・児童・生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	89%	11%
10	身のまわりの清潔を保つことや生活環境を整える指導を行なっている。	91%	9%
11	校務分掌・各種委員会は学校の実態に応じて適切に配置されている。	74%	26%
12	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	58%	42%
13	校長・准校長は、職員のやる気の喚起など、学校教育の推進にリーダーシップを発揮している。	77%	23%
14	各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能している。	72%	28%
15	職員会議をはじめ部会や学年会が、教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している。	64%	36%
16	施設・設備の拡充は、長期的見通しに立って計画されている。	43%	57%
17	各教科の備品や教材教具が適切に配置され、活用されている。	57%	43%
18	一人一台端末やコンピューター等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている。	86%	14%
19	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。	70%	30%
20	教育活動に必要な情報について、児童・生徒・保護者や地域への周知に努めている。	82%	18%
21	保護者や地域の人々と接する機会を持っている。	88%	12%
22	教職員はPTA活動に参加している。	72%	28%
23	個別の教育支援計画・個別の指導計画について、本人・保護者の二一ズを踏まえ作成している。	92%	8%